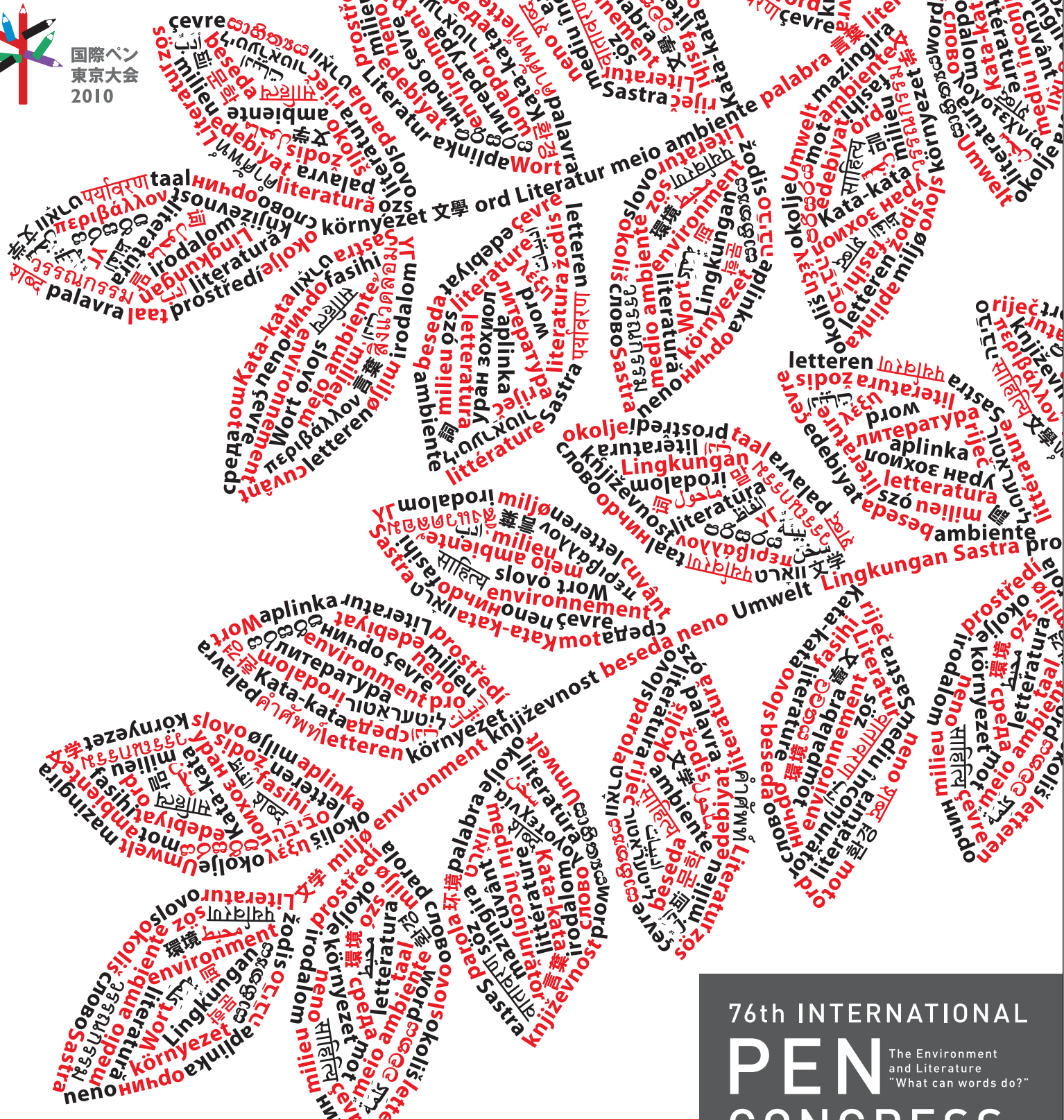




国際ペン
東京大会
2010



76th INTERNATIONAL

PEN The Environment
and Literature
"What can words do?"
CONGRESS
TOKYO 2010

 第76回

国際ペン東京大会2010

環境と文学「いま、何を書くか」

2010.9.23(木) — 2010.9.30(木)

会場：早稲田大学、京王プラザホテル東京

主催：国際ペン、社団法人日本ペンクラブ(〒102-0026 東京都中央区日本橋兜町2-3) 共催：早稲田大学

文学フォーラム

9.23(木) — 9.25(土)

6作品一挙舞台化! / 作家、自作を語る

開会式 9.26(日)

井上ひさし群読劇「水の手紙」
ノーベル賞作家講演も一般公開

会場：早稲田大学大隈講堂

東京・新宿区 地下鉄東西線早稲田駅下車3分

各種セミナー、映画上映・展示会等、多彩なプログラムを展開!

詳細はホームページをご覧ください → <http://www.japanpen.or.jp/convention2010/>



事前登録票

〈文学フォーラム〉と〈国際ペン東京大会2010開会式〉はともに入場無料ですが、プログラムごとに事前登録された方が優先です。登録希望者多数の場合は申込み順となります。定員に限りがありますので、確実にご入場いただくために、事前登録をおすすめいたします。

インターネット登録が便利です。

「日本ペンクラブ」を検索し、該当項目から事前登録画面を開けます。

<http://www.japanpen.or.jp/convention2010/>

ファックスの場合は、以下のプログラムから登録ご希望のものを選び、右端の枠に「✓」印をし、末尾にお名前とご連絡先のFAX番号等をご記入の上、次の番号に送信してください。

FAX 03-3508-1710 FAXによる申込期限:9月15日(水)

会場
早稲田大学大隈講堂

①～⑥は朗読に引き続いて、作家本人によるスピーチがあります。

① 文学フォーラム開会式—阿刀田高「闇彦」新潮社

朗読 | ことばの社 元NHKキャスター 松平定知

9月23日(木) 祝日 13:00～15:00

人間にとっての最大の自然、それは死か。その受け入れ難さを、古今、人は物語に託し、語り継いできた。物語る人の宿命が交わる光景を現代に蘇らせる書き下ろし作品。脚本・演出＝吉岡忍、画・CG＝加藤純・四位雅文、作曲＝森ミドリ、横笛＝植松葉子、小鼓＝古賀裕己 前半の〈文学フォーラム開会式〉では環境をめぐる世界文学の新潮流を展望する。

② サラ・パレツキー「沈黙の時代のなかで書く」早川書房

朗読 | ことばの社 元NHKアナウンス室長 山根基世

9月23日(木) 祝日 16:00～17:30

人を、人種や性別という〈檻〉に囲い込む社会制度への反抗が米国の人気ミステリー作家を育て上げた。初めて語る生い立ちと、9.11以降の米国社会への違和感、そして、孤立を乗り越える人々への静かな共感。脚本・演出＝吉岡忍、画・ライブドローイング＝茂本ヒデキチ、作曲＝森ミドリ、パーカッション＝定成誠一郎・淡紅子

③ チママンダ・ンゴズィ・アディーチェ

「なにかが首のまわりに」河出書房新社 朗読 | 俳優 松たか子

9月24日(金) 18:00～19:10

ナイジェリアから米国へ移り住んだ若い女性が感じる驚きと違和感と寂しさ。異文化同士の個人が理解し合うとはどういうことか。数々の文学賞を受賞し、いまもっとも注目される若手作家が〈アメリカの現実〉と〈アフリカの現在〉を繊細に捉えた意欲作。脚本＝くぼたのぞみ、彫刻・CG＝中村圭、四位雅文、作曲・チェレスタ・ピアノ＝森ミドリ

④ 莫言(出演交渉中)「牛」岩波書店

朗読 | 講師 神田松鯉 踊り | 田中 浪

9月24日(金) 19:30～21:10

これ以上牛が増えたら、オレたちが食い詰めてしまう。窮状の村で、牛たちは次々に去勢された。14歳の少年と老人は炎天下、瀕死の仔牛を連れ、町までの辛い道をたどる。文革期中国の人々の疲弊と滑稽を描ききった異色作品。田中浪が仔牛の悲哀を踊る。脚本・演出＝吉岡忍、人形・画＝戸井紅子・有園絵夢・絵瑠、中国琵琶＝シャオロン

⑤ サルワ・アル・ネイミ「蜜の証拠」講談社

朗読 | 俳優 吉行和子

9月25日(土) 14:00～15:30

私はポルノ学者? アラブ性愛文学の古典と現実の男女関係が密通し、ひとつとなる。イスラム女性の隠された性を大胆に描いてセンセーションを巻き起こした作品。そこには肥大した観念世界に対する身体と自然からの痛烈な批判が込められている。脚本・演出＝吉岡忍、画・CG＝ズキコージ・四位雅文、ネイティブフルート＝真砂秀朗

⑥ マリーナ・レヴィツカ「おっぱいとトラクター」集英社

朗読 | 活動写真弁士 片岡一郎

9月25日(土) 16:15～17:45

84歳のお父さんの再婚相手はウクライナの36歳、超ボインのピンク爆弾だった。仲違いしていた姉妹は家族を守ろうと共同戦線を張るが、世界の現実には容赦なく押し入ってくる。イギリスの家庭で繰り広げられる移民と強制収容所と農機具が織りなす悲喜劇とハッピーエンドの物語。脚本＝青木純子、画・CG＝里中満智子・四位雅文、ピアノ＝柳下美恵

⑦ 国際ペン東京大会2010 基調公演
井上ひさし作 群読劇「水の手紙」—開会式典

9月26日(日) 13:00～15:20

井上ひさし(日本ペンクラブ前会長)が世界中の〈水〉問題に託して書き残した人類へのメッセージ。「わたしは水です」という最後の台詞にたどり着いたとき、私たちは地球を抱きしめているだろう。息をもつかせぬ群読劇60分。演出監修＝栗山民也、演出＝杉山良 他に国際ペン会長など各界代表のスピーチと、奄美高校生徒20人による壮大な竹太鼓演奏。

⑧ 国際ペン東京大会2010 基調講演
マーガレット・アトウッド／高行健

9月26日(日) 15:35～17:10

カナダを代表する女性作家アトウッド、華人系作家として初めてノーベル文学賞を受賞した高行健。多文化主義へと雪崩を打つ現代世界のただなかで、果敢な創作活動を行なう2人が見据える地球環境と現実。文学は、そして、われわれはどこへ行くのか。同時通訳付き。

※ご友人・家族などと一緒にファックス登録される場合は、この面をコピーし、お一人ずつご登録ください。

フリガナ					
お名前	TEL	-	-	FAX	-

【個人情報保護について】本イベントについて、日本コンベンションサービス株式会社(JCS)が主催者より参加受付業務を委託されています。お預かりする個人情報は、当イベント運営に関する業務の目的で利用いたします。個人情報提供を主催者に提供する場合、旅行・宿泊取扱い業者に提供する場合、法令等に基づく場合などを除き、お預かりする個人情報を第三者に提供いたしません。また、個人情報を当社の業務委託先に委託する場合がありますが、この場合は委託先に対し適切な管理・監督を行います。JCSの個人情報保護方針については、以下をご参照ください。◆JCS個人情報保護方針→<http://www.convention.co.jp/privacy/index.html> または、http://www.jcs-pco.com/contact_privacy.html ◆個人情報保護に関する照会先→cpcs@convention.co.jp ※プログラム内容、出演者等は都合により変更になる場合があります